

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇生徒アンケート「先生方はわかりやすく、興味をもてる授業をしている」は9割以上が肯定的回答。「話し合い活動による思考の深まり」も肯定的な解答が94.4%と、過去3年間で最も高かった。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の質問調査の結果でも「自分と違う意見について考えるのは楽しい」が札幌市平均より5ポイント以上高く、授業での対話的・協働的な学びはもちろん、学級活動における話し合い活動が充実している様子がうかがわれる。</p>	<p>◇授業や活動に積極的に参加する様子は見られるが、学んだことを次につなげ、更なる学びへと自ら向かう姿がやや弱い。全国学力・学習状況調査の質問調査の結果からも、リフレクションの視点が2項目とも全国や札幌市の平均と比べて3ポイント以上下回っている。</p> <p>◇学んだことで満足せず、新たな探究心が芽生え、次の学びへとつながる力を育てることが重要である。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇共通指標アンケートの「相互承認の感度」に関連する5項目すべてにおいて、本校の全校平均は札幌市の平均を上回っている。また、5項目すべてにおいて前年度比を上回っているが「自分が必要とされている」は他の項目よりやや低い傾向にある。</p> <p>◇部活動や生徒会役員への応援メッセージの取組や、合唱や学校祭等、行事等の振り返りに相互評価の場を設定してきたことが、自己肯定感の高まりに繋がっていると考えられる。引き続き、成功体験を積み上げ、自信をもてるような取組を大切にしていきたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自らの成長や学びを実感し、新たな学びへと向かう力（継続）

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1)今年度の研修テーマ「問いを軸に展開する授業～見通しと振り返りをつなぐ実践～」に基づき、導入時の問いを大切にし、単元を貫く中心課題を設定する。</p> <p>(2)設定した課題の解決に向けて、<u>生徒が見通しをもち、対話を通して主体的に取り組むことができるような授業づくりを目指す。</u></p> <p>(3)<u>振り返りの場で、理解(なるほど)、更なる好奇心(もっと)が共存する姿を目指す。</u></p>	<p>①自治的な学級活動の充実→<u>学級の諸問題の解決や、学級活動の活性化に向けた学級会において、折り合いを付けて合意形成を図る話し合い活動を充実させる。</u></p> <p>②「あいさつ運動」について、<u>パートナー校の児童会と実践交流を行い、平岸中学校区における9年間の繋がりを大切にする。</u></p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇(1)において、「自分ごと」となる問いとなるよう、教師の投げかけを工夫し、生徒の思いをワードクラウド等で可視化する</p> <p>◇②において、平岸中学校区クラスルームを開設し、児童会と生徒会を繋ぐ</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

